

## ランチョンセミナー

## 「スタートアップ×アカデミア×バイオインフォマティクス」

(メタジェンセラピューティクス株式会社)

日時：2023年9月7日（木）12:30-13:30

場所：柏の葉カンファレンスセンター（千葉県柏市）第一会場（Room1+2）

## 【プログラム】

## ●12:30-13:20: 演題発表

「スタートアップ企業におけるバイオインフォマティクス」

山田拓司Ph.D.

メタジェンセラピューティクス共同創業者・上級科学顧問（東工大准教授・株式会社メタジェンCTO）

「バイオインフォで志す基礎研究から社会実装までの道」

渡邊日佳流 Ph.D. メタジェンセラピューティクス シニアバイオインフォマティシャン

「バイオインフォPh.D. CEOの考えるMGTxのビジョン」

中原拓 Ph.D., MBA. メタジェンセラピューティクスCEO

## ●13:20-13:30 Q&amp;A

メタジェンセラピューティクスは、腸内細菌科学を活用した医療と創薬をおこなう大学発スタートアップです。本セッションでは、私たちが現在取り組んでいる活動とその社会的インパクトについてご紹介します。

私たちの主なミッションは、「腸内細菌叢移植(FMT)」の実現と「マイクロバイオーム創薬」の推進です。腸内細菌叢は、がん、潰瘍性大腸炎、パーキンソン病、アレルギーなどのさまざまな疾患と密接に関係していることが明らかになってきています。

私たちは、この革新的な研究領域の先駆者として、日本初の腸内細菌叢バンクを構築し、FMTと創薬事業の両方に応用しています。FMTを通じて腸内細菌叢の可能性を探索し、その結果から独自の医薬品候補を開発しています。このFMT起点のリバーストランスレーショナルアプローチは、臨床開発の成功確率を高める可能性があります。バイオインフォマティクスは、私たちの研究開発における重要な要素で、作用機序の解明や新薬候補の発見に貢献することができます。

本セッションでは、「スタートアップ×アカデミア×バイオインフォマティクス」の観点から、バイオインフォマティクスがどのように活用されているのかについて詳しくお話しします。最先端のヘルスケアビジネスと創薬にご興味がある方や、バイオインフォマティクスが社会に与えるインパクトを知りたい方はぜひご参加ください。私たちと一緒に、この刺激的な領域での可能性を探求しましょう。

**メタジェンセラピューティクス株式会社**

2020年創業。正社員数15名。東工大、慶應大、順天堂大発バイオベンチャー。腸内細菌叢サイエンスを活用して創薬と医療を進める。創業以来約20億円の資金調達を実施し、順天堂大学内に共同研究講座「細菌叢再生学講座」を開設。AMEDプロジェクトで日本のマイクロバイオーム創薬基盤形成にも貢献。本年7月には当社も共同研究で参加した腸内細菌とSARS-CoV-2に関する論文がNature Communicationsに掲載。

**人材募集中：**研究開発、事業開発含め幅広い才能と情熱を持った人材を募集しています。研究者はもちろん、腸内細菌叢ドナーコミュニティマネージャーなどバイオインフォの知識を活かしたビジネス経験を積めるポジションも募集しています。契約形態はインターン、兼業・副業、業務委託、正社員など状況に応じてフレキシブルに対応します。